

企画名： あなたもできる、自治体から脱原発「電気と電器をカエル計画」  
実施日時： 2012年1月15日（日）13：40～15：10  
実施場所： パシフィコ横浜会議センター 4F 416+417  
登壇者： 代表 石井伸弘 半田博子 浜口美穂（電気をカエル計画）  
松岡顕（千年先の未来・ツクろーかる 代表）  
東山浩子（千年先の未来・ツクろーかる 代表）  
嶋村紀代美（愛知県日進市市議会議員）  
参加人数： 約80名  
文責： 石井伸弘（電気をカエル計画）

この企画では、活動の報告ではなく、活動をする人を募る目的で開催されました。私たちが行っている活動は、自治体の電力を電力会社から切り替えて新しい電力会社「特定規模電力：PPS」に切り替えること、そして自治体・企業が使っている電気の使用量を削減することで、原発に依存する社会をカエル事を目指しています。

私たちの活動は2011年7月に岐阜で始まり、現在東海4県と、関西2県、関東1県で取り組みが広がっています。

活動はいたってシンプル。各県ごとに全自治体に対して電力切り替え・節電への取り組みをアンケート調査し、その結果を元にセミナーや、議員への働きかけを行って、リアルに社会を変えよう、というもの。90年代に広がった、グリーンコンシューマー運動をお手本にしています。

脱原発活動はどうしても成果が見えにくく、ともすると活動を継続するモチベーションの維持が困難になります。怒りや不安だけでは、活動を長続きさせることはできません。私たちの活動では、経済的にメリットのある提案しかしません。そういった提案をすることで、自治体・企業が実際にカエルところまで活動することをめざします。

実際に、東海地域では、市民の手で調査・提案を行った結果、複数の自治体で電力切り替えが実際に進みました。大きな成果だと思っています。

残念ながら、PPSは電力会社からの電力依存が大きく、当初期待した「脱原発」に役立つ存在とはとてもいえないことが明らかになりました。しかし、電力需要の6割以上をしめる自治体・産業界の電力使用をカエルことができれば、原発に依存する社会から少しでも脱却することが可能です。

会場の参加者は関東の方が大変多く来られていましたが、PPSの事を知っていたと言う方が大半を占めるなど、大変関心の高い方が集まりました。そして、質疑の時間で、「私は神奈川に住んでいるが、一緒にこの活動をやる人いませんか」「私は九州だが、一緒にやる人は」といった声があり、会議散会後に神奈川・東京のメンバーが廊下で連絡先を交換し、メーリングリストを作って、この活動を開始することになりました。2月中にも再度横浜で集まる予定です。

また、会議終了後の朝日新聞（1月19日）の社説余滴欄でも電気をカエル計画のことを紹介していただくなど、大きな反響をいただきました。

